



CLUB OFFICE  
 京都YMCA 三条本館  
 京都市中京区三条通柳馬場角  
 TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

# Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS  
 "TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2020

11

Bulletin  
 2020.11.1発行  
 第35巻第5号通巻419号

**主題**  
**国際会長** VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP  
**アジア会長** 変化をもたらそう 奮い立たせよう  
**西日本区理事** Let's do it now! 2022に向け誇りを持って All is well.  
**京都部部长** 人生は一度きり 出会いから全てが始まる

**聖句**  
 フアリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。」

ルカによる福音書17章20～21節



## 「総主事としての3年余りを振り返って」

京都YMCA総主事 加藤 俊明

今年で私が京都YMCAの総主事に就任して4年目を迎えています。この間、会員の皆様に見えていなかったこともあろうかと思しますので、この3年余りを振り返りつつ京都YMCAの今後について書かせて頂こうと思います。

2017年4月に総主事となり始めに取り組んだのが、三条本館の耐震補強と保育園の設置の工事でした。この工事は、耐震補強だけではなく、3階や6階のトイレの改修や、懸案であったプール天井の軽量化改修、館内の老朽化配管の一部取り替えや、停止のたびに位置がずれて不安を与えていたエレベーターの改修など、三条本館の建物を将来にわたり維持してゆくために必要な改修工事も含んでいました。また、保育園の開設は新たな公益事業としてYMCAの公益性を高めるとともに、将来にわたり財政を支える柱を作る意味あも持っていました。

しかし、この保育園開設も耐震補強工事も用意した自己資金もない中で進めましたので、行政からの補助金は出ましたがそれ以外の資金やその間の運転資金などは新たに長期借入金を借りておこなわざるを得ませんでした。総主事就任以降、今回の新型コロナの事態での借入れを含めこれまでに借りた借入金は、学校法人の学園債を合わせ約4億円にもなります。後世に書かれる京都YMCA史では、きっとYMCAに大きな借金を背負わせた借金総主事として書かれるに違いありません。

しかし、借りたものは返さなければなりません。したがって総主事としてのもう一つの大きな課題は、事業を継続させながらこれらの借入金を返済してゆける収益構造を作り上げるという事でした。総主事になる以前から毎年両法人で出していた赤字決算でしたが、新たに増えた借入金の返済をしつついかに黒字化するかということが緊急の課題でした。

実は残念ながら未だその目標は達成されていません。昨年度決算で久しぶりに学校法人が黒字決算となりましたが、今年この新型コロナの影響でまた赤字に戻りそうです。

今後、全国のYMCAで進めてきたブランディングをもとに現在の事業内容を作り変え、YMCAが地域に無くてはならない存在となることで、収益の出る事業構造に変えてゆかなければならないと思っています。

その中には痛みを伴うものもあるかもしれませんが何としても成し遂げなければなりません。そのためにもワイズメンの皆さんに会員としてご協力をお願いすることが出てくると思います。どうかこの京都YMCAを未来に残すための改革にご理解いただき、ご支援とご協力をお願いいたします。

### 会長主題

**より強い絆で**

仲間って本当に  
いいものですね

**会長** 澤田 哲平  
**副会長** 三村 良行  
 飯尾 豊  
**書記** 宇高 史昭  
**会計** 岸 裕也  
**ネット会長** 澤田真紀子

### 強調月間

Public Relations  
 Wellness

### 11月 例会案内

#### 第一第二例会

京都府モニタモニタリング指標に従い、例会日の7日前が「警戒基準」だったら、京都YMCAとZoomによるハイブリッドにて開催。

#### 例会出席

10月第一	--名
10月第二	--名
在籍者数	17名
メークアップ	--名
出席率	--%

#### BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

#### ファンド

じゃがいも	227,500円
	0円
<b>累計</b>	<b>364,750円</b>

#### ニコニコ

10月第一例会	0円
10月第二例会	0円
<b>累計</b>	<b>9,000円</b>

令和2年10月7日(水)第1回有志の会が、YMCA301号室で開催されました。Zoomでの参加も可能な、いわゆるハイブリッド形式です。新型コロナの京都府のモニタリング指標が、1週間前に警戒基準だったため、ホテルでの例会は中止、メンバーからの、顔を合わせて交流したいという声によって急遽決まったものです。

第1回は、YMCA参集が8人、Zoom参加が1人という少し寂しい会でした。でも、さすがに集まってくるなり、話が盛り上がり、Zoom参加の私は音量を下げたほどです。

例会ではありませんが、会長挨拶から。この日は他クラブもYMCAを使っているところが多く、広い会場が取れなかったため(でも、遠藤主事が少しでも広い部屋をと尽力してくださいました)、人数に限りがありましたが、寂しい会になったという会長の思いからスタートです。あらためて、ホテル例会開催基準の説明があり、この状況の中で、メンバーでアイデアを出してやっていきたいと言われました。

次にファンド委員会からジャガイモファンドの日時のお知らせと、YMCA遠藤主事からの報告の後、今後の例会の持ち方について話し合いました。

出た意見の主なものを紹介します。

- ・いつ収束するかわからない状況の中で、前向きな意見が出にくい。分断状態。
- ・室内ではなく屋外での開催も検討してはどうか。回数も検討。
- ・例会という概念にとらわれなくてもいいのでは。今までと同じやり方は難しい。
- ・時間さえ共有したら交流できる。Zoomであれば他クラブの例会にも参加しやすい。プリンスも他クラブに声掛けしてはどうか。
- ・仕事内容や組織の取り決めなど、それぞれの立場で制約がある中でどうするか。
- ・京都府のモニタリング指標を例会開催基準とすることについて、どうとらえるか。
- ・指標があったほうが、ゲストスピーカーにもホテルにも説明がつきやすい。
- ・ハイブリッドにせよ、出られない人がどうすれば出られるのか。
- ・ホテルではなくYMCAの広い部屋で、食事なしではどうか。食事がある以上、ホテルでの開催は難しいのでは。等々。

最後に、会長から、京都府モニタリング指標に基づいた基準は動かしたくない、みんなが来たいと思う例会にしたい、目標も明らかにしたい、屋外開催も含めて考えると、改めて意思表示がありました。今後も会長の思いに添えるように、皆で協力し、話をしていきたいと思います。

21日コロナ感染防止のため、場所及び時間に変更されZOOMを利用してハイブリット形式で「第二回有志の会」として開催されました。

京都YMCAに無理を聞いていただき、少しでも密にならないように一番大きな部屋を確保していただき参加者も安心して集うことができ遠藤担当主事に感謝いたします。

当日会場参加者は、澤田会長、飯尾ワイズ、宇高ワイズ、遠藤担当主事、岸ワイズ、榎木ワイズ、西村ワイズ、廣井ワイズ、三村の9名。ZOOMでの参加は小野ワイズ、斉藤ワイズ、蒔田ワイズ、森ワイズの4名。通常の例会様式の通り会長挨拶その後役員会/委員会報告、YMCAからの連絡と有りました。コロナになってからは感染を避けるためZOOMを使うかメールでの連絡がほとんどでしたが、メンバーと直接対峙しての会はやはり良いものですね！

メインのプログラムはコロナに関するビデオを視聴しました、西脇京都府知事による現状報告及び新しいライフスタイル5点の提案、テレビ出演でよく見かける藤井聡氏から京都大学レジリエンス実践ユニット「半自粛」のススメ～「防災」から「減災」へ～の公演は興味深いものでした。今後の社会活動(クラブ運営)に参考になると思います。

最終的にはコロナ感染と各個人が自己責任の元行動していくしかないと思います。



今回は、ブリテン委員長から“クラブへの提言、希望、理想”というテーマを頂きましたので、私の思うクラブ活動について原稿を書きたいと思います。

まず、最初に“クラブ活動”という言葉 Wikipedia で調べてみたところ、クラブ活動とは、“共通の趣味・興味を持つ仲間が集まった団体での活動”とのことでした。

京都プリンスワイズメンズクラブは、YMCAをはじめ、関西盲導犬協会、子どもセンターののさん等、クラブメンバーがサポートしたい団体・活動を支援する上で年間スケジュールが立てられています。

ボランティア団体である我々にとって、これらの軸をもとに活動している事は、明確な目的があり素晴らしい事だと思います。しかしながら、2020年は、コロナの影響で定例会となる例会も開催出来ない状態に陥り、決まったスケジュールもこなすことが出来なくなっております。

私個人としても、コロナの影響で活動を制限される部分が多々あり、また非常に厳しい経済状況下で、生活における優先順位も大きく変わってしまい、ワイズ

としての活動も出来る限りの範囲での活動となり、その優先順位も低くなってしまっています。

いつかはコロナも落ち着き通常状態に戻るのですが、こんな状況だからこそ、どのような形で、クラブ活動を再開するかについて、改めて考えるべきだと思います。

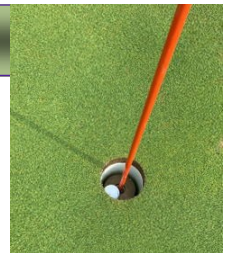
冒頭に述べた“共通の趣味・興味”を楽しめる環境があれば、クラブメンバーも楽しく生活における優先順位も上がり参加率も上がると思います。また、メンバー候補者からも楽しそうと思える活動(例会)をもう一度クラブメンバーで考えるべきだと思います。

クラブ活動が楽しくなる為には何が必要かを最優先で考え実行する事で、全ての事に好循環をもたらすと考えています。

私もプロジェクト35委員長として、記念例会に向けた楽しい流れを作れるよう出来る限り力を尽くしたいと思います。

## ホールインワン

岸 裕也



学生時代の旧友より、コロナで飲みに行くこともできないので、8月7日にゴルフへ行こうというお誘いを受けました。当日午後に仕事の予定もあったので、朝一番スタートでラウンドとなりました。インスタートの2ホール目、滋賀カントリー倶楽部11番ブルーティー147ヤードの打ち下ろしのホール、8番アイアンでティーショットをしたボールが、まさかのホールインワン!! ショット後はピン方向にボールが飛んだのを見ていたのですが、前に飛んだティーを拾って、歩こうとしたところ、友人より「ボール見えなくなったよ」と。たしかにティーグラウンドからはボールが見えず、またピン奥にも無さそうの雰囲気でした。もしかしてカップインしているかもしれないと友人達と騒ぎだして、iPhoneで動画を撮りながら、グリーンへ。恐る恐るカップを覗き込むと、予想通りボールが!! 心残りとしては、入った瞬間を見ていなかったことですが、14歳でゴルフコースデビューをして、早いもので26年。今まで何ラウンドしてきたかは不明ですが、ある日突然のホールインワンで、友人達と大騒ぎをしておりました。まだ長いゴルフ人生、2回目のホールインワンを達成できるように、今後もゴルフを楽しみたいと思います。

## 東広島クラブだより

阿武(あんの) 朋子



京都プリンスクラブのみなさま、お変わりありませんか。コロナ禍で、10月10～11日の酒まつりが中止となり、その日に開催しておりましたDBC交流会ができません、誠に残念に思っております。DBC交流会のみならず、東広島クラブの年間の行事は、これまでのところ全て中止となり、まったく活動できていない状況です。これでは東広島クラブの近況をお知らせできませんので、代わりに、私、阿武(あんの)の紹介をお届けしましょう。

私は、広島YMCA在勤中は、数年ごとに転勤があり引っ越しの繰り返しで、そのつど小さなアパートを借りて生活していました。それが、定年後転勤のない継続雇用となったため、その機に、広島市内で中古マンションを買いました。そして、転勤暮らしではできなかった、「人を呼べる家に住む」念願をかなえるため、1室をお座敷に改修し、家で宴会ができるようになりました。料理は宅のあり合わせですが、近隣にいい鮮魚店があるので、そこでお刺身を注文しており、女将(私のこと)は色気ないけど、魚はうまい、と評判になっています。

東広島クラブの例会も、これまで何度か宅で開催し、今年も2月の初旬に、お座敷例会をいつにするかと話し合っていました。そのときには、武漢のコロナのニュースは知っていたけれど、まさかそこまでとは思えなかったのがなんと浅慮だったことかと思えます。今では、お座敷はまったく休業状態で、風を通して掃除してはいますが寂しい限りで、女将も今や清掃婦です。

いずれコロナが収束したら、まずは東広島クラブの例会を行い、貴ブリテンにその報告を寄稿しましょう。そして、貴クラブのみなさま、安心して往来できるようになったらお招きしたいと思いますので、ぜひおいください。ただし、お座敷は、定員4名様、補助卓を入れても6名様までなので、少人数でのお越しをお願い申し上げます。 女将敬白



コロナ騒動の終息の兆しも見えない中、ワイズ活動も低迷が続いています。対面での集会、奉仕活動もほとんど行えずにいます。そんな中、サンライズは10月第一例会はYMCA会館でハイブリッドの例会を開催しました。どうしても顔を見て集まりたいというメンバーは山手センターに集まり、用事があったり、ちょっとコロナがというメンバーはZoomでの参加でと、自由参加の例会になりました。DBC京都プリンスからもお二人の参加をいただきました。

続いて部会をホストしました。よその部では中止を決めたり、ハイブリッドで部会をおこなったり、厳しい人数制限なども行われましたが、あずさ部では誰でもおいで(但しよその部にまでは声掛けをしませんでしたが)と半数に近いメンバーが集まりました。最後はコッソリと打ち上げも行いました。

そして第二例会は恒例のお散歩例会を挙行。人数は7人と寂しかったですが、いつもの通り最初は蕎麦屋でガソリンを入れて、今回は上野公園の中をお散歩。下町資料館や小さな神社仏閣を幾つも回りました。中には結構インスタ映える所も見受けられました。久しぶりの散歩で皆結構疲れて、4時過ぎから打ち上げを始める始末でした。

コロナに負けるな、でも気を付けよう！



**1. YMCA国際協力募金**

未来を生きていく子どもたち。子どもが未来に夢や希望をもち、自分を大切に思えることができるように。そして、自分も他の人も大切に思う気持ちを育てるように。差別や争いのない社会で生きることができるようになる。一人ひとりの思いが支援につながります。  
教育支援 — コロナ禍にあるアジアのYMCA 主な支援国・地域：東ティモール、カンボジア、インドネシア

多文化共生・難民支援 — 国内外の難民支援 主な支援国・地域：パレスチナ、ギリシャ

<募金の方法>

- 1) 例会時等に担当主事までお渡しください。
- 2) 三条本館1階窓口
- 3) 口座振込 郵便振替 01050-7-19132 京都YMCA 奉仕活動基金 通信欄に「国際協力募金」とお書きください。

**2. スキーキャンプ・ウインター&スプリングプログラム募集 (スキー、雪あそび、体操教室、ス**

**イミング、アフタースクール)**

各種プログラムを用意しています。1月までのスキーキャンプは GoToトラベル適用です。  
お申込み：予約専用サイトe-YMCA  
お問合せ：ウエルネスセンター (TEL) 075-255-4709



**3. チャリティゴルフ — ロングランコンペ**

収益はYMCA ポジティブネット募金 (子ども・ユース・地域支援) に活用されます。  
協力会場：センチュリー・シガ・ゴルフクラブ ザ・カントリークラブ、日野ゴルフ倶楽部、クラウンヒルズ京都ゴルフ倶楽部 以上11月1日 (日) ~30日 (月) ザ・サイプレスゴルフクラブ 11月30日 (月) のみ  
お申込み等、詳細は案内をご覧ください。  
お問合せ：チャリティゴルフ事務局 (TEL) 075-231-4388

**10月度 役員会報告**

**報告事項**

●オータムフェスタにてぜんざいを出店。有志による協力を要請します。

**承認された事項**

- 小野ワイズを次期京都部会計に選出
- 8月~10月分例会費を月8千円とし6千円/月分を返金する。
- オータムフェスタ運営協力金負担を会長とYサ委員長に一任とする。
- 例会中止期間中ではあるが、試験的にホテルでの例会を有志での参加として開催する。

**11月 スケジュール**

- 4日(水) 第一例会 19:30 京都YMCAとオンライン
- 15日(日) リトセンオータムフェスタ 宇治リトリートセンター
- 18日(水) 第二例会 19:30 京都YMCAとオンライン
- 25日(水) 役員会 20:00 オンライン

**11月 Happy Birthday**

3日 蒔田茂夫

**編集後記**

僕達の活動の基本理念まで、問い直させられるコロナ。全てを白紙に戻し、一から考えさせられるコロナ。コロナって、ある意味、本当に凄いやつ！